

4. おおいた消防指令センターでの119番受信が始まります



大分県全域の119番通報を受信する消防指令業務の共同運用事業は、10月の本運用に向けて、荷揚複合公共施設（市役所別館）4階で指令システムの構築を進めています。

7月2日（火）から大分市を皮切りに県下全域の119番回線を順次、新指令センターに切り替えていきます。

119番回線は、事故や災害等で助けを必要とする時など、緊急時に消防へ通報する回線ですので、1回線ごと慎重に切り替えを行うため、県下全域の切り替えに約1か月を要します。

すべての回線切替えが終了するのは、8月6日（火）を予定しており、各消防本部の切り替え日程は以下のとおりです。

◎切替日一覧

7月2日（火）	大分市消防局管内
7月9日（火）	宇佐市消防管内／中津市消防管内／豊後高田市消防管内
7月16日（火）	豊後大野市消防管内／臼杵市消防管内／別府市消防管内
7月23日（火）	日田玖珠広域消防管内／佐伯市消防管内
7月30日（火）	竹田市消防管内／由布市消防管内／杵築速見消防管内
8月6日（火）	国東市消防管内／津久見市消防管内

おおいた消防指令センター

Oita Fire Command Center

現在、それぞれの消防本部で行っている119番の受信から出動指令を発出する消防指令業務を一本化し、共同の指令センターで運用します。



通信指令システムを支える主要機器

● 指令装置



大規模災害モード



大規模災害など通報が集中する場合、**最大36席**に分割し119番通報に対応します。



通常運用

● NET119、映像通報



● 119番ヘルプ機能



NET119は、音声通話が困難な方のために、インターネットを活用して119番通報を受信する装置です。映像通報は、通報者のスマートフォンのカメラ機能を利用し、現場映像や位置情報等を共同指令センターで確認できる機能です。

住所が不明な場合等で災害場所の特定が困難な場合は、管轄本部に待機する消防職員と共同指令センター員、通報者による3者通話を行い、災害点を特定します。

● 大型液晶表示板



● 高所監視カメラ・現場映像送信装置



50インチの液晶ディスプレイを24面設置。各本部の車両状況や災害件数、119番着信情報、気象状況、現場映像等、指令管制業務を支援する情報を拡大・分割して表示します。

災害現場の映像をリアルタイムで共同指令センターと管轄消防本部に送信します。災害状況を詳細に把握し、現場支援に活用します。

119番分散受信

万が一、共同指令センターで119番を受信できなかった場合は、受信先を各本部に切替えて、各本部で119番通報を受信します。各消防本部では、自本部の**車両動態情報等**が活用できる**縮退運用機能**を使用し、業務を継続します。

● 情報共有支援システム・災害情報収集装置



指令センターと災害現場及び消防本部で災害情報をリアルタイムで共有するシステムです。指揮隊と救急隊にはタブレット端末を、消防本部には専用端末を配備します。